

流域治水プロジェクト(案)について

- 第5回 広島県東ブロック流域治水協議会
- 第4回 広島県中央ブロック流域治水協議会
- 第4回 広島県西ブロック流域治水協議会

流域治水への転換

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 **集水域**
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、
 ため池等の治水利用

流水の貯留

河川区域
 [国・県・市・利水者]
 治水ダム建設・再生、
 利水ダム等において貯留水を
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水
 機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、
 雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した
 堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

**リスクの低いエリアへ誘導／
 住まい方の工夫**
 [国・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、
 不動産取引時の水害リスク情報提供、
 金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、
 自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 **氾濫域**
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、
 多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、
 リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、
 BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報
 提供、金融商品を通じた浸水対
 策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの
 体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

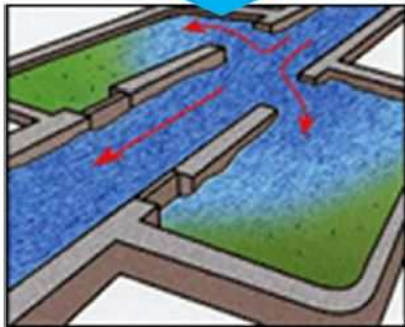
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 氾濫を防ぐ堤防等の治水施設や流域の貯留施設等の整備
例)...河川整備、利水ダム等の事前放流、水田・農業用ため池の活用、森林整備、治山施設整備、雨水幹線・雨水ポンプ場の整備

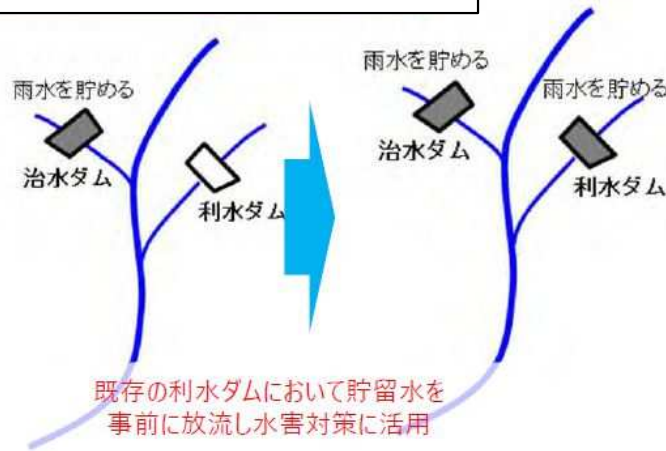
堤防整備



遊水地



既存の利水ダムの治水活用



大規模地下貯留施設(下水道)



調整池



【事例:霧が丘調整池(横浜市)】

平常時



洪水時

校庭貯留



【事例:栄町小学校(札幌市)】

平常時

土手を整備し、貯留容量を確保



洪水時

(出典:内閣府. 国と地方のシステムワーキング・グループ 第23回資料.

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/20200507/agenda.html>. (参照 2020-5-7))

(出典:気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 資料)

②被害対象を減少させるための対策

- 氾濫した場合を想定して、被害を回避するためのまちづくりや住まい方の工夫等例)...土地利用規制・誘導、災害ハザードエリアからの移転促進、不動産取引時のリスク情報提供

◆災害ハザードエリアにおける開発抑制 (開発許可の見直し)

<災害レッドゾーン>

- 都市計画区域全域で、住宅等（自己居住用を除く）に加え、**自己の業務用施設**（店舗、病院、社会福祉施設、旅館・ホテル、工場等）の**開発を原則禁止**

<浸水ハザードエリア等>

- 市街化調整区域における住宅等の開発許可を厳格化**（安全上及び避難上の対策を許可の条件とする）

区域	対応
災害レッドゾーン	市街化区域 市街化調整区域 非線引き都市計画区域 開発許可を原則禁止
浸水ハザードエリア等	市街化調整区域 開発許可の厳格化

【都市計画法】

災害レッドゾーン

- ・災害危険区域（崖崩れ、出水等）
- ・土砂災害特別警戒区域
- ・地すべり防止区域
- ・急傾斜地崩壊危険区域

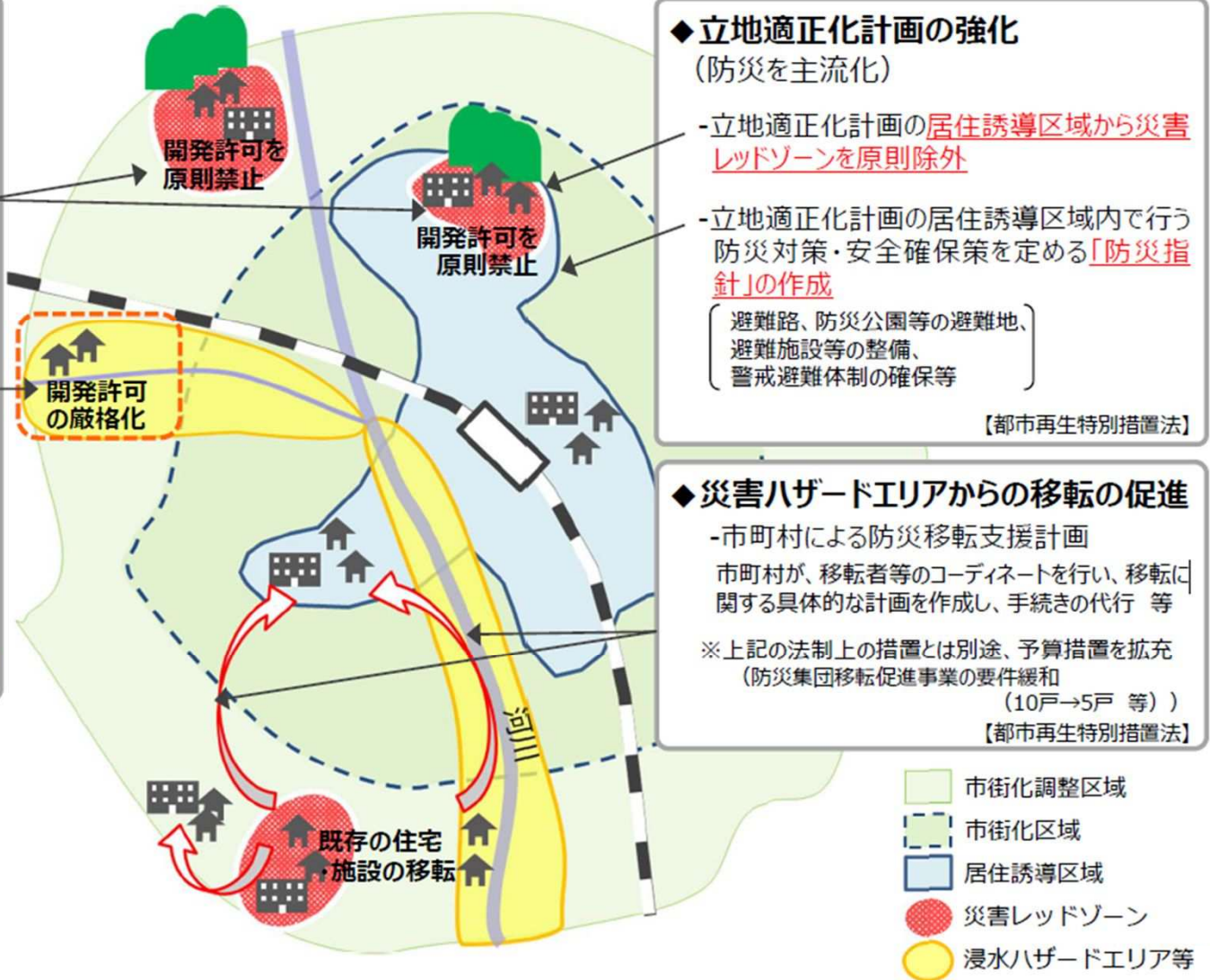
◆立地適正化計画の強化 (防災を主流化)

- 立地適正化計画の**居住誘導区域から災害レッドゾーンを原則除外**
- 立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める「**防災指針**」の作成
〔避難路、防災公園等の避難地、避難施設等の整備、警戒避難体制の確保等〕

【都市再生特別措置法】

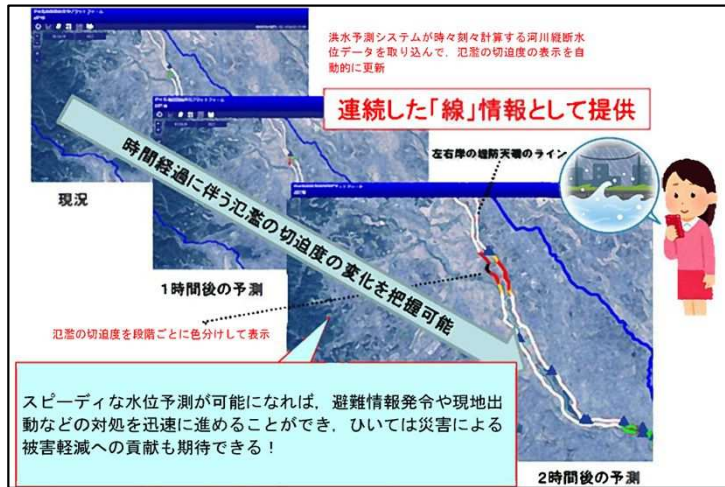
◆災害ハザードエリアからの移転の促進

- 市町村による防災移転支援計画
市町村が、移転者等のコーディネートを行い、移転に関する具体的な計画を作成し、手続きの代行等
 - ※上記の法制上の措置とは別途、予算措置を拡充（防災集団移転促進事業の要件緩和（10戸→5戸等））
- 【都市再生特別措置法】



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害の軽減、早期の復旧復興のための対策
例) ...ハザードマップの作成・公表、マイ・タイムラインの普及、重要施設の浸水防止対策、洪水時の河川情報の充実(水位・画像等)



水害リスクラインの提供



簡易型河川監視カメラによる河川情報の充実

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

国	市	住民等
3日前		テレビの天気予報を注意。 ハザードマップで避難所を確認! 非常持出袋の準備 足りない物を買出し! 川の水位をインターネットで確認。
洪水予報	避難準備	おじいちゃんと一緒に 早めの避難開始!
洪水予報	避難勧告	避難所に避難完了!
氾濫発生		

マイ・タイムラインの検討の過程で

「リスクを認識」 知る・気づく

- 自分の家が浸水してしまう
- 避難所まで遠い 等

「逃げるタイミングがわかる」 考える

- いつ逃げる?
- 誰と逃げる?
- 危険な場所をよけて逃げるには?

「コミュニケーションの輪が広がる」

- 意見交換などで、知り合いになれる 等

マイ・タイムラインができると...

- 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

マイ・タイムラインの作成

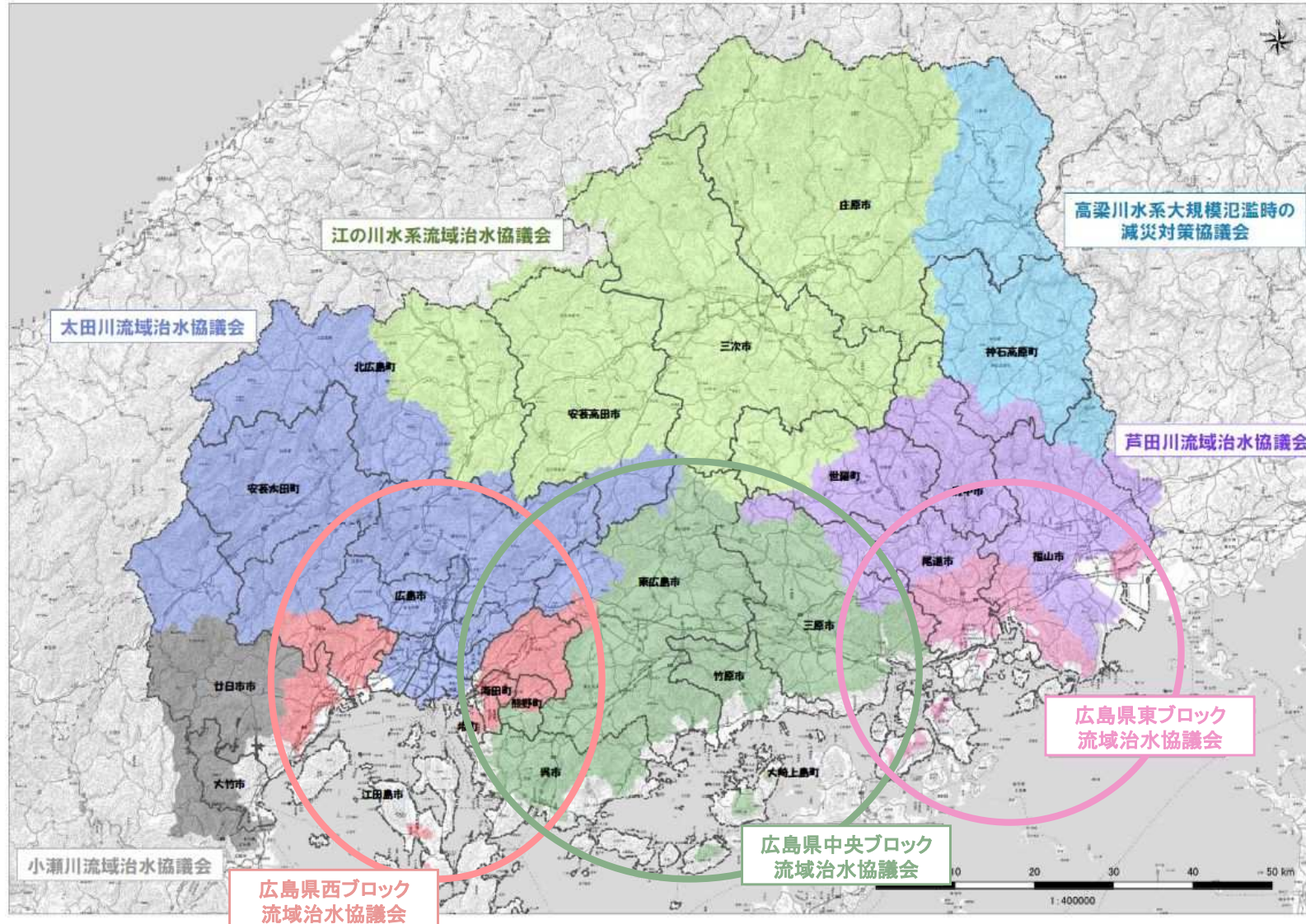
(出典:国土交通省. 流域治水の推進「流域治水の基本的な考え方」.
<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>. (参照 2022-3-22))



まるごとまちごとハザードマップの設置

流域治水協議会設置状況

- 流域治水を計画的に推進するために流域のあらゆる関係者が協議・情報共有等を行う場
- 広島県内の二級水系では、令和3年1月に協議会を設置し、毎年開催する協議会において取組内容を更新



- 東ブロック**
 三原市
 尾道市
 福山市

- 中央ブロック**
 呉市
 竹原市
 三原市
 東広島市
 熊野町
 大崎上島町

- 西ブロック**
 広島市
 廿日市市
 江田島市
 海田町
 熊野町
 坂町

- 広島県東ブロック
 流域治水協議会**

- 広島県中央ブロック
 流域治水協議会**

- 広島県西ブロック
 流域治水協議会**

県内の二級水系一覧

- プロジェクト策定対象水系を以下に示す

広島県西ブロック 流域治水協議会

水系名
八幡川水系
瀬野川水系
永田川水系
永慶寺川水系
御手洗川水系
可愛川水系
岡ノ下川水系
矢野川水系
総頭川水系
小鹿野川水系
尾崎川水系
田中川水系

広島県中央ブロック 流域治水協議会

水系名	水系名
二河川水系	西野川水系
堺川水系	高田川水系
黒瀬川水系	大長川水系
野呂川水系	原田川水系
木谷郷川水系	原下川水系
賀茂川水系	小原川水系
沼田川水系	
和久原川水系	
大谷川水系	
高野川水系	
蛇道川水系	
三津大川水系	
本川水系	

広島県東ブロック 流域治水協議会

水系名	水系名
藤井川水系	重井川水系
本郷川水系	倉崎川水系
羽原川水系	大河原川水系
新川水系	
山南川水系	
大正川水系	
栗原川水系	
大田川水系	
才戸川水系	
本谷川水系	
手城川水系	
熱田川水系	
沖田川水系	

: 整備計画策定済み水系


流域治水プロジェクト

- 河川整備に加え、流域の市町村などが実施する雨水貯留浸透施設の整備や災害危険区域の指定等による土地利用規制・誘導等、都道府県や民間企業等が実施する利水ダムの事前放流等、治水対策の全体像について「流域治水プロジェクト」として示し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速

<目的>

流域治水の全体像を住民に理解してもらう

【イメージ】 ○○川流域治水プロジェクト

- ★ 戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★  …浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

■ 河川対策

- ・堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

■ 流域対策(集水域と氾濫域)

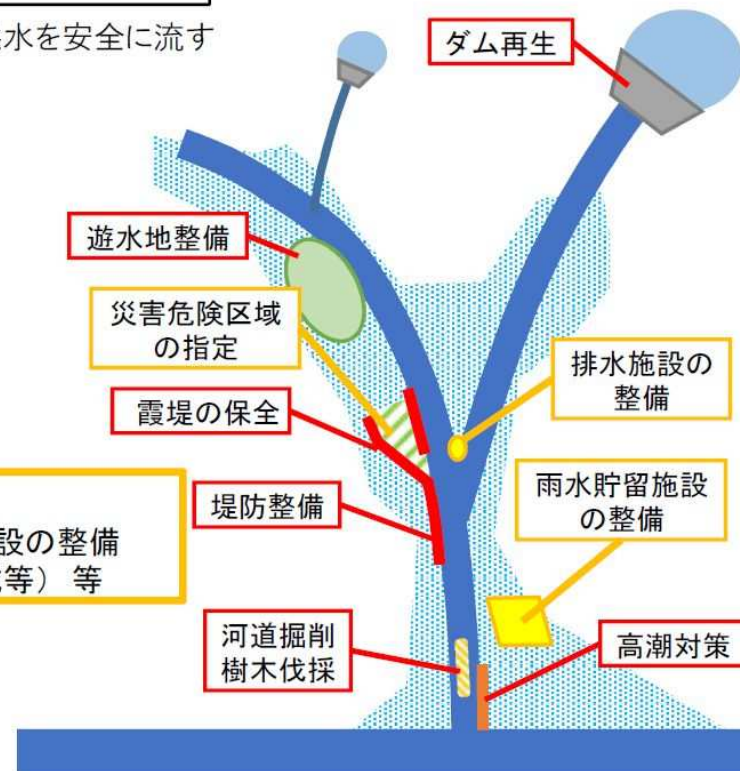
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等

■ ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等

<ポイント>

全体像を分かりやすく提示



中長期的な事業の全体像をわかりやすく発信することで、地域住民等の理解促進や意識醸成に取り組む。

(出典:内閣府. 国と地方のシステムワーキング・グループ 第23回資料.
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/20200507/agenda.html>. (参照 2022-3-22))

取組一覽

- このたび策定する流域治水プロジェクトに表示する取組項目及び内容を、以下のとおり整理した。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

取組項目	取組内容	目指す姿(取組効果)
① 洪水氾濫対策	河川改修	流下能力が向上している状態
	準用河川・普通河川の改修	流下能力が向上している状態
	準用河川・普通河川の浚渫	流下能力が維持されている状態
	堰の改築	流下能力が向上している状態
② ダムの洪水調節機能の強化	利水ダム等における事前放流の実施・体制構築	洪水調節機能が向上している状態
③ 内水氾濫対策(水路・排水機場・排水ポンプ等)	雨水排水施設の整備	排水(流下)能力が向上している状態
	雨水排水施設の長寿命化	排水(流下)能力が維持されている状態
	雨水排水施設の耐水化	洪水時の排水能力が確保されている状態
	農業用水利施設の整備	排水(流下)能力が向上している状態
④ 雨水貯留機能の向上(雨水貯留施設(地下貯留・枝庭貯留・田んぼダム・ため池等))	雨水貯留施設の整備	貯留浸透機能が向上している状態
	雨水貯留施設の浚渫	貯留浸透機能が確保されている状態
	農地等の保全	貯留浸透機能が維持されている状態
	田んぼダム	貯留機能が向上している状態
	ほ場整備	貯留浸透機能の維持・向上している状態
	改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進	改修又は廃止する農業用ため池について活用が進んでいる状態
	農業用ため池の改良(洪水吐にスリットを設置)	貯留機能が向上している状態
	貯留施設の低水位管理等(事前放流、事前水位低下)	貯留機能が向上している状態
	農業用ため池の浚渫	貯留機能が確保されている状態
	農業用ため池の雨水貯留浸透施設への転換	貯留機能が向上している状態
⑤ 山地の保水機能の向上	森林整備	保水機能が向上している状態
	治山事業	保水機能が向上している状態
⑥ 土砂流出対策	砂防堰堤等の整備	土砂流出・流木災害が防止されている状態

■ 被害対象を減少させるための対策

取組項目	取組内容	目指す姿(取組効果)
⑦ 水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定(改定)・運用	水災害に強いまちづくりが進んでいる状態
	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化	居住地の安全性が強化されている状態
	止水板の設置補助	補助制度を利用した止水板設置が進んでいる状態

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

取組項目	取組内容	目指す姿(取組効果)
⑧ ハザードマップの作成・周知	洪水ハザードマップの作成・周知	水災害リスク情報が整備されている状態
	内水ハザードマップの作成・周知	水災害リスク情報が整備されている状態
	3Dマップによる防災情報の発信	水災害リスク情報が周知されている状態
	水位計、河川監視カメラの設置	水災害リスク情報が整備されている状態
	出前講座等を活用した防災教育	水災害リスク情報が周知されている状態
	マイ・タイムラインの作成及び活用の促進	水災害リスク情報が周知されている状態
⑨ 高齢者等避難の実効性の確保	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	高齢者等避難の実効性が確保されている状態
	避難行動要支援者への支援	高齢者等避難の実効性が確保されている状態
⑩ 防災体制の強化	情報伝達手段の多重化促進	防災体制が強化されている状態
	水防訓練の実施	防災体制が強化されている状態
	防災拠点の浸水対策	防災体制が強化されている状態
	関係機関との各種連携(協定等)	防災体制が強化されている状態

※関係機関によって、取組内容の名称が一部、異なる。

流域治水プロジェクト目次

- 手城川水系流域治水プロジェクト . . . P1、2
- 黒瀬川水系流域治水プロジェクト . . . P3、4
- 本川水系流域治水プロジェクト . . . P5、6
- 永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト . . . P7、8
- 永田川水系・小鹿野川水系・田中川水系流域治水プロジェクト . . . P9、10
- 瀬野川水系・矢野川水系・総頭川水系・尾崎川水系流域治水プロジェクト . . . P11、12
- 八幡川水系・岡ノ下川水系流域治水プロジェクト . . . P13、14
- 高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系・小原川水系流域治水プロジェクト . . . P15、16
- 沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト . . . P17、18
- 二河川水系・堺川水系・大谷川水系流域治水プロジェクト . . . P19、20
- 木谷郷川水系・賀茂川水系・高野川水系・蛇道川水系・三津大川水系流域治水プロジェクト . . . P21、22
- 野呂川水系流域治水プロジェクト . . . P23、24
- 大正川水系・熱田川水系・沖田川水系・重井川水系・倉崎川水系・大河原川水系流域治水プロジェクト . P25、26
- 藤井川水系・栗原川水系・大田川水系流域治水プロジェクト . . . P27、28
- 本郷川水系・羽原川水系・新川水系・山南川水系・才戸川水系・本谷川水系流域治水プロジェクト . . . P29、30

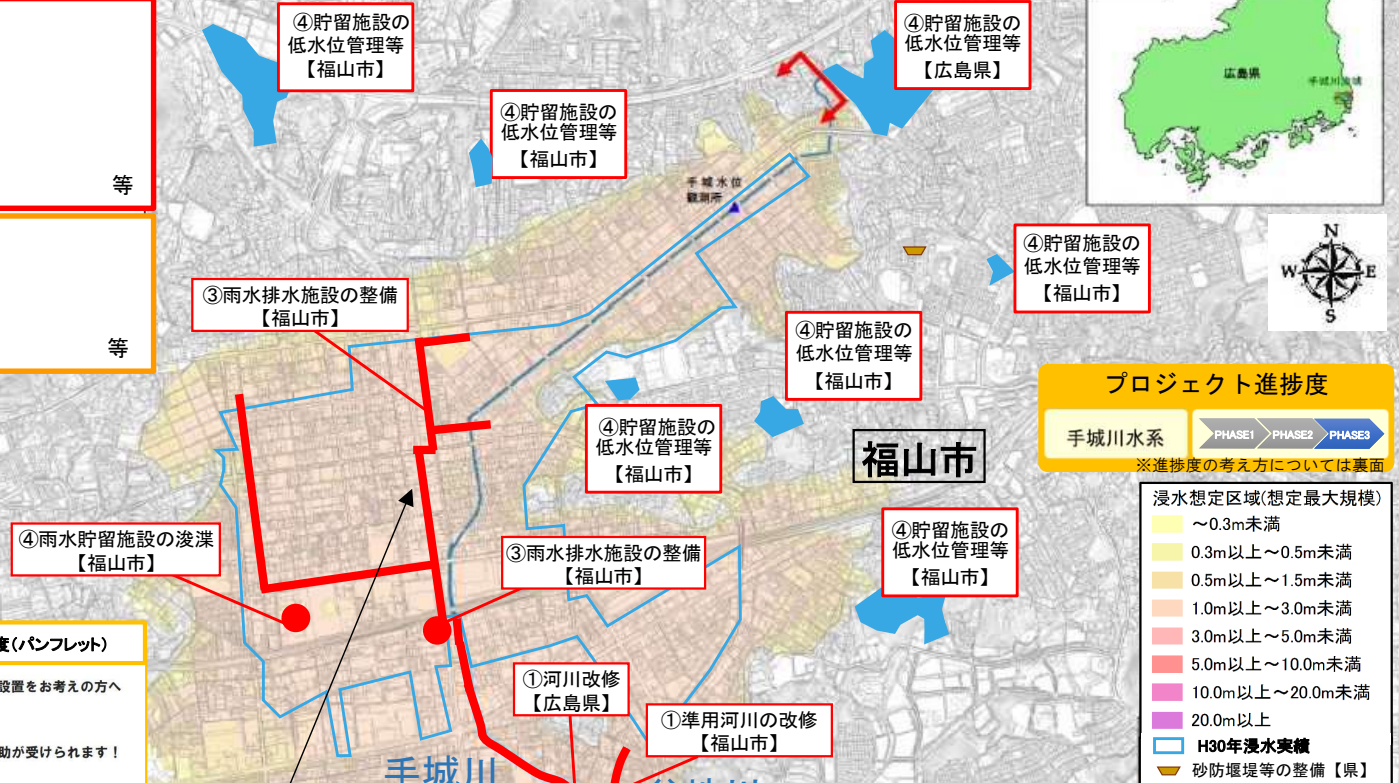
- 平成30年7月豪雨で甚大な被害が発生した手城川水系では、平成7年7月に発生した豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、平成29年9月豪雨（短期集中降雨）の降雨50(mm/60分)及び平成30年7月豪雨（長期継続降雨）の降雨243(mm/24h)と同規模の降雨に対し100mm/h安心プランを策定し、流域における床上浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、福山市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【福山市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】



プロジェクト進捗度

手城川水系 PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

雨水貯留施設の堆積土砂撤去(半田池)

撤去前

撤去後

止水板設置補助金制度(パンフレット)

自宅や店舗等へ**止水板**の設置をお考えの方へ

最大 **50** 万円の補助が受けられます！

止水板とは

玄関など建物の出入口や、水の浸入経路に取り付ける板などで、形や材質は様々です。大雨などにより道路等に洪水が発生した場合、建物内への水の浸入を抑えます。人力で取り付けが容易にできる特徴があります。

対象事業

- 止水板の購入
- 設置工事
- 掘削工事（外壁の防水工事、土間コンクリート）

【問合せ先】 福山市上下水道局経営管理課 お客さまサービス課

〒720-8526 福山市吉野上1-1-1 2階2号 福山市上下水道局 電話(084)298-1532 8:30~17:15（土日祝日・年末年始を除く）



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【福山市】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【福山市】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、福山市】

- 手城川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 平成29年9月及び平成30年7月豪雨相当の降雨に対し床上浸水を解消するため、河道掘削や排水機場の整備、雨水幹線・雨水ポンプ場整備を実施。
- 【中期・中長期】 更に流域全体の安全度を向上させるため、平成7年7月豪雨相当の降雨に対しても床上浸水の解消に向けて引き続き河道掘削等を実施。あわせて逃げ遅れゼロを目指した、浸水想定区域の指定・公表や危険箇所の周知、危機管理型水位計および河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る。

■事業規模
河川対策 (約92億円)
下水道対策 (約209億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	排水機場ポンプ増設済		河川改修(手城川)
		福山市	河川改修(谷地川)	100mm/h安心プラン	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	福山市			雨水貯留施設の浚渫
		福山市			貯留施設の低水位管理等
	⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業
⑥土砂流出対策	広島県		砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
		福山市	開発許可の厳格化済		浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	福山市		内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、福山市			関係機関との各種連携



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

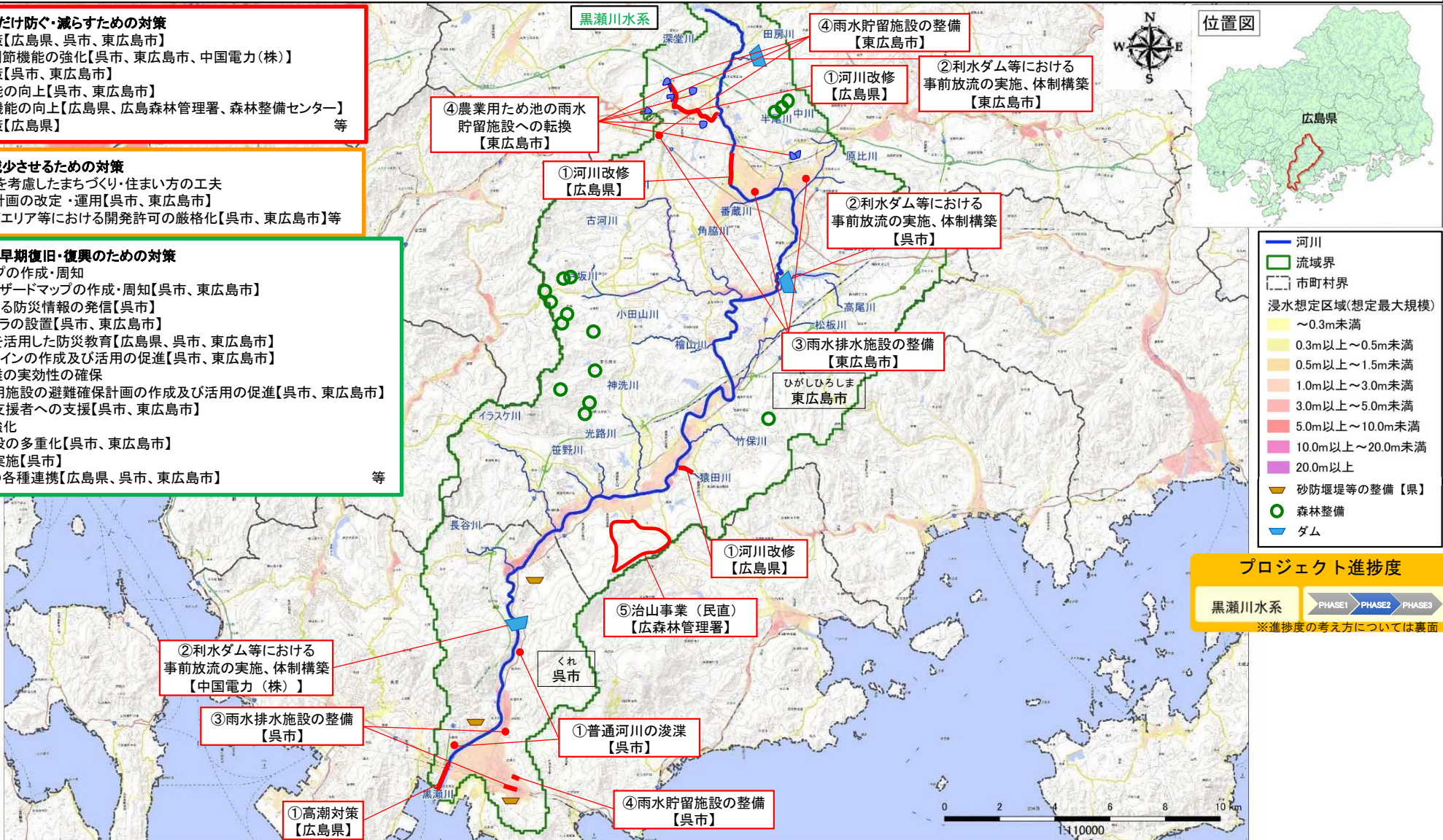
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市、東広島市】
 - ②ダムでの洪水調節機能の強化【呉市、東広島市、中国電力(株)】
 - ③内水氾濫対策【呉市、東広島市】
 - ④雨水貯留機能の向上【呉市、東広島市】
 - ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
 - ⑥土砂流出対策【広島県】

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【呉市、東広島市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市、東広島市】等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、東広島市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【呉市、東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化【呉市、東広島市】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 黒瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】 更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	高潮対策		
		呉市、東広島市	河川改修		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市、東広島市、中国電力(株)	河道掘削【東広島市】・浚渫【呉市、東広島市】		
		呉市、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(三永ダム、田房ダム、二級ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市、東広島市	雨水排水施設の整備【呉市、東広島市】 雨水排水施設の長寿命化、耐水化【呉市】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、東広島市	雨水貯留施設の整備【呉市、東広島市】		
		東広島市	農地等の保全		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
		東広島市	農業用ため池の雨水貯留施設への転換		
⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、東広島市	防災指針策定		
		呉市、東広島市	開発許可の厳格化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、東広島市、(広島県)	立地適正化計画の改定・運用		
		呉市、東広島市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、東広島市	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】		
		呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成【呉市】		
⑩防災体制の強化	広島県、呉市、東広島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進			



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

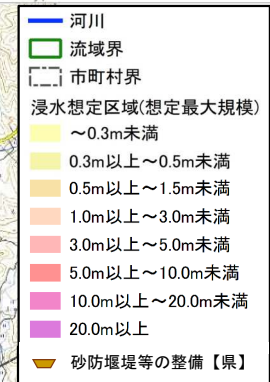
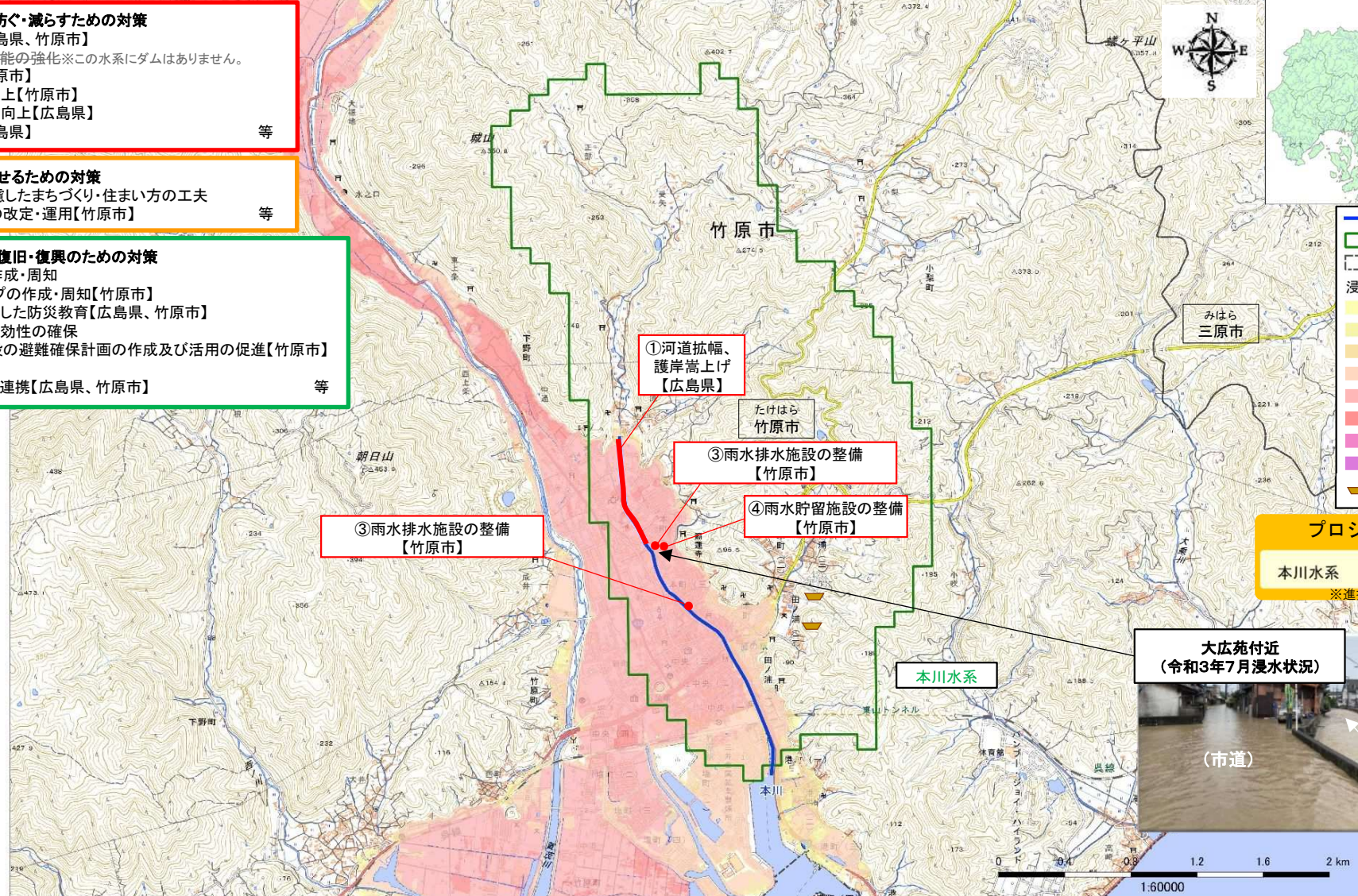
- 平成30年7月豪雨をはじめとして、近年、浸水被害が頻発している本川水系では、平成30年7月豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を推進していくことで、流域における浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市】
 - ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
 - ③内水氾濫対策【竹原市】
 - ④雨水貯留機能の向上【竹原市】
 - ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
 - ⑥土砂流出対策【広島県】

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫・立地適正化計画の改定・運用【竹原市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【竹原市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、竹原市】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【竹原市】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・関係機関との各種連携【広島県、竹原市】



プロジェクト進捗度

本川水系

PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 本川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨相当の洪水から床上浸水被害を解消するため、河道掘削や土砂流出対策等の治水対策を実施。
- 【中期・中長期】平成30年7月豪雨相当の洪水を安全に流下させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河道拡幅、護岸嵩上げ(本川)		
		竹原市	普通河川の改修、浚渫		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	竹原市	雨水貯留施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	竹原市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	竹原市、(広島県)	洪水・内水ハザードマップ作成 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	竹原市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、竹原市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、廿日市市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【廿日市市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

等

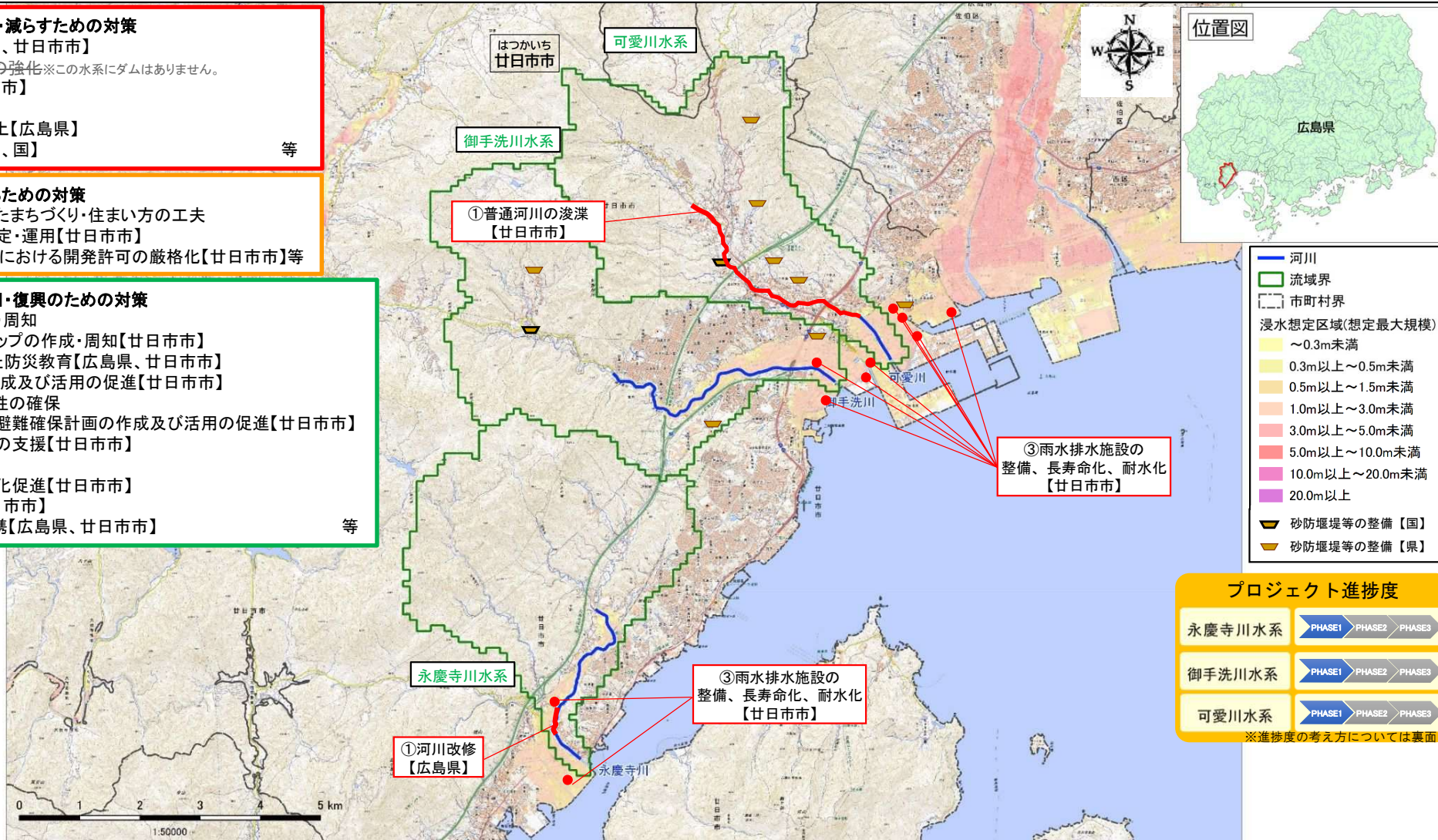
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【廿日市市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【廿日市市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【廿日市市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、廿日市市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【廿日市市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【廿日市市】
 - ・避難行動要支援者への支援【廿日市市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【廿日市市】
 - ・水防訓練の実施【廿日市市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、廿日市市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。-16-

永慶寺川水系・御手洗川水系・可愛川水系流域治水プロジェクト

【ロードマップ】

令和5年度版

西ブロック

二級水系
流域治水プロジェクト

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永慶寺川・御手洗川・可愛川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】 更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修		
		廿日市市	普通河川の浚渫		
	③内水氾濫対策	廿日市市	雨水排水施設の耐水化		雨水排水施設の整備、長寿命化
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	廿日市市	立地適正化計画の改定・運用		
		廿日市市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	廿日市市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	廿日市市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、廿日市市	内水ハザードマップ作成		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【江田島市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

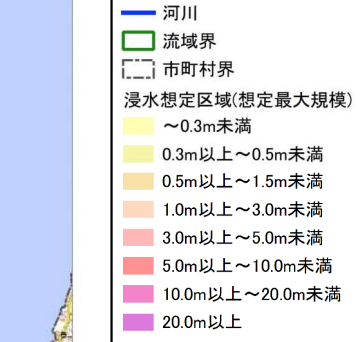
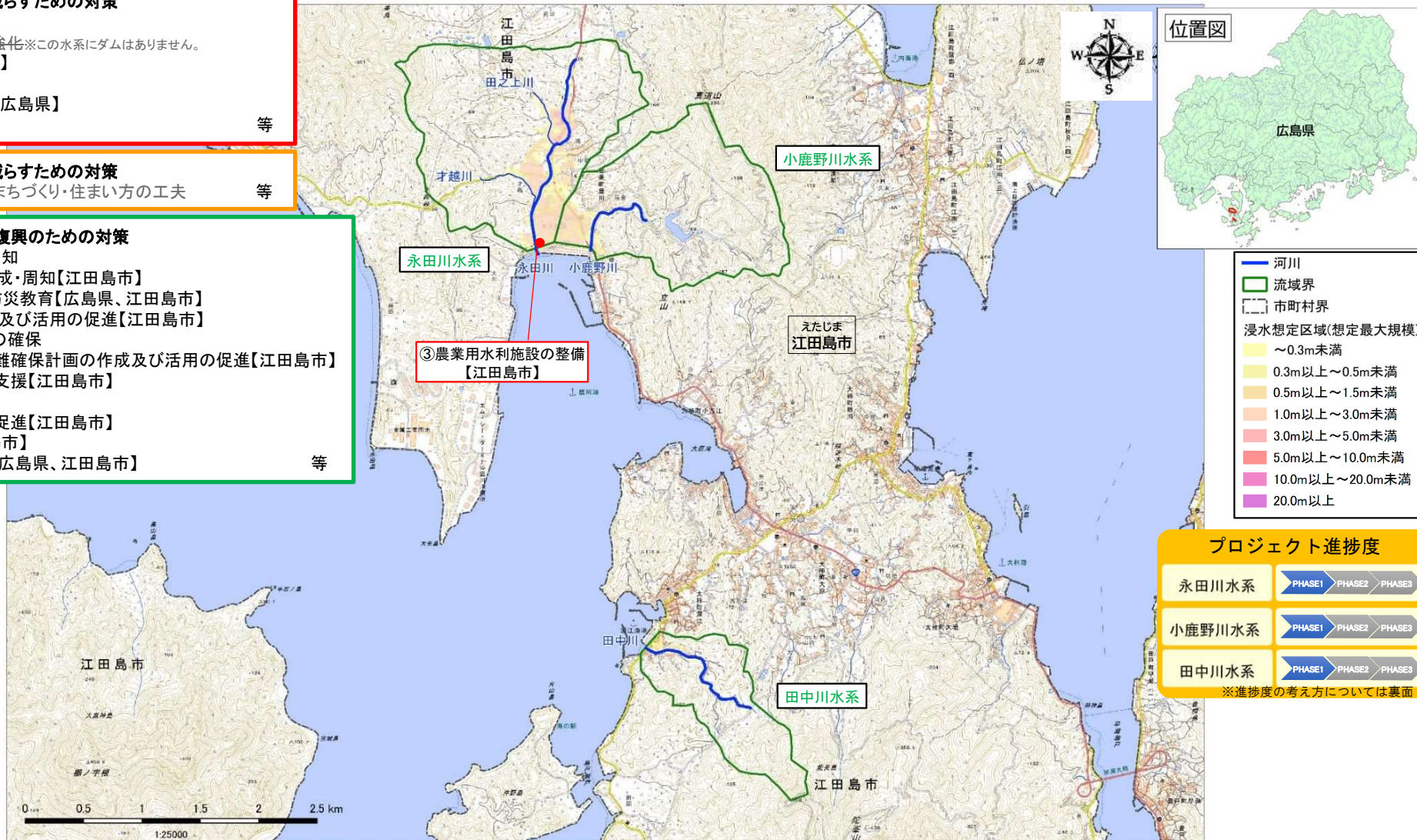
等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【江田島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、江田島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【江田島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【江田島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【江田島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【江田島市】
 - ・水防訓練の実施【江田島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、江田島市】

等

③農業水利施設の整備
【江田島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。-18-

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永田川・小鹿野川・田中川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	江田島市	農業水利施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	江田島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	江田島市			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩関係機関との各種連携	広島県、江田島市			関係機関との各種連携



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

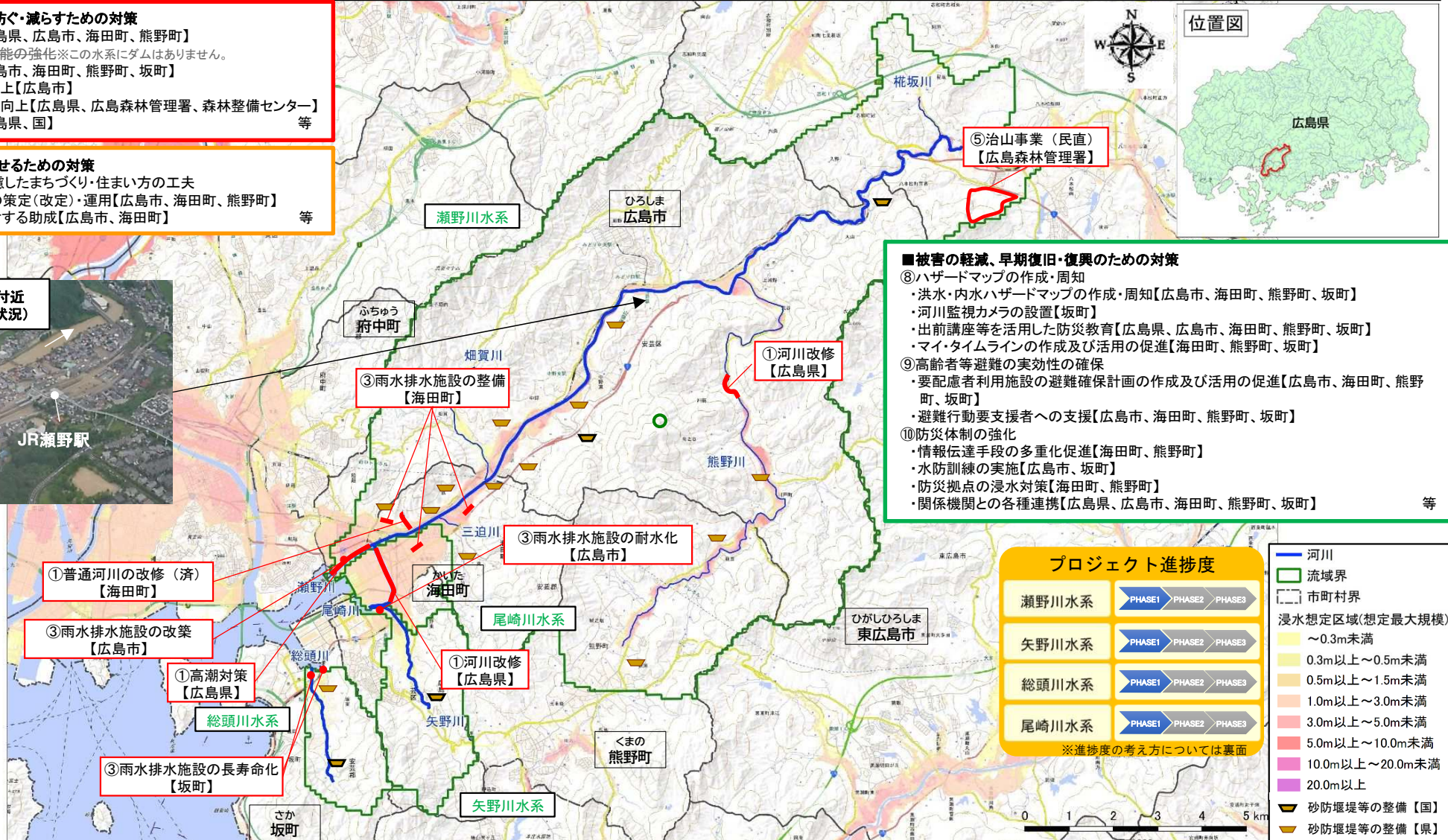
- ①洪水氾濫対策【広島県、広島市、海田町、熊野町】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【広島市、海田町、熊野町、坂町】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【広島市、海田町、熊野町】
 - ・止水板の設置に対する助成【広島市、海田町】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・河川監視カメラの設置【坂町】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【海田町、熊野町、坂町】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市、海田町、熊野町、坂町】
 - ・避難行動要支援者への支援【広島市、海田町、熊野町、坂町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【海田町、熊野町】
 - ・水防訓練の実施【広島市、坂町】
 - ・防災拠点の浸水対策【海田町、熊野町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町】



プロジェクト進捗度

瀬野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
矢野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
総頭川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
尾崎川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

- 河川
- 流域界
- 市町村界
- 浸水想定区域(想定最大規模)
 - ～0.3m未満
 - 0.3m以上～0.5m未満
 - 0.5m以上～1.5m未満
 - 1.0m以上～3.0m未満
 - 3.0m以上～5.0m未満
 - 5.0m以上～10.0m未満
 - 10.0m以上～20.0m未満
 - 20.0m以上
- 砂防堰堤等の整備【国】
- 砂防堰堤等の整備【県】
- 森林整備

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 瀬野川・矢野川・総頭川・尾崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(熊野川) → 高潮対策(瀬野川)・河川改修(尾崎川)		
		広島市、海田町、熊野町	普通河川の改修【熊野町、海田町(済)】、浚渫【熊野町】 → 普通河川の改修、浚渫【広島市】		
	③内水氾濫対策	広島市、海田町、坂町	雨水排水施設の整備【海田町】、改築【広島市】、耐水化【坂町】 → 雨水排水施設の耐水化【広島市】 → 雨水排水施設の長寿命化【坂町】		
		熊野町	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市、海田町、熊野町	防災指針策定済【海田町】 → 防災指針策定【広島市、熊野町】	立地適正化計画の策定・運用【熊野町】 → 立地適正化計画の改定・運用	
		広島市、海田町	止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、海田町、坂町、熊野町、(広島県)	洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市、坂町(未定)】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市、海田町、熊野町、坂町	洪水・内水ハザードマップ作成済【海田町】 → 洪水ハザードマップ作成済【熊野町】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえだ
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

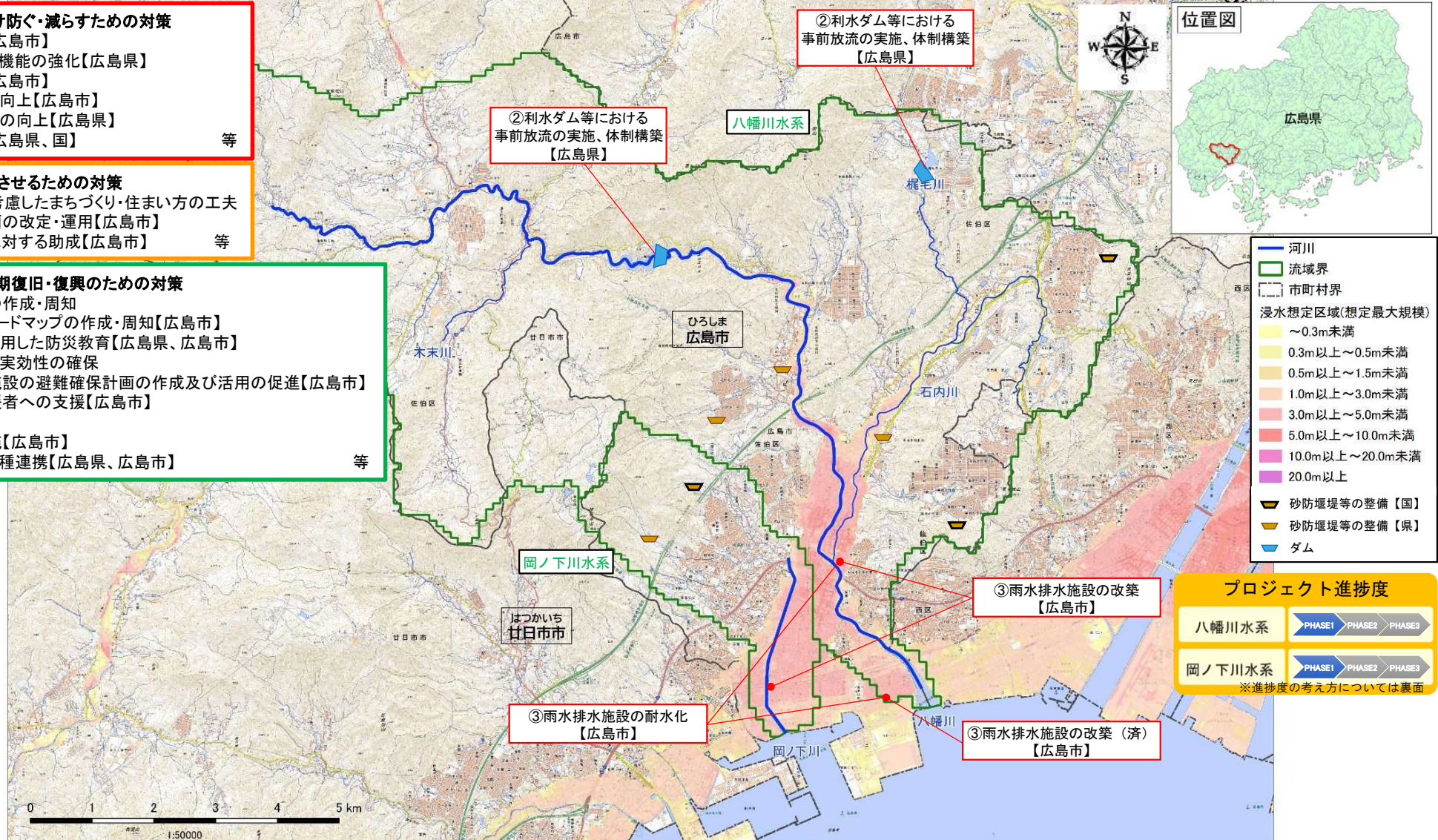
- ①洪水氾濫対策【広島市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫・立地適正化計画の改定・運用【広島市】
- ・止水板の設置に対する助成【広島市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・水防訓練の実施【広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 八幡川・岡ノ下川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島市	普通河川の改修、浚渫		
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(魚切ダム、梶毛ダム)		
	③内水氾濫対策	広島市	雨水排水施設の改築	雨水排水施設の耐水化	
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
		広島市	止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、(広島県)	洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、大崎上島町】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

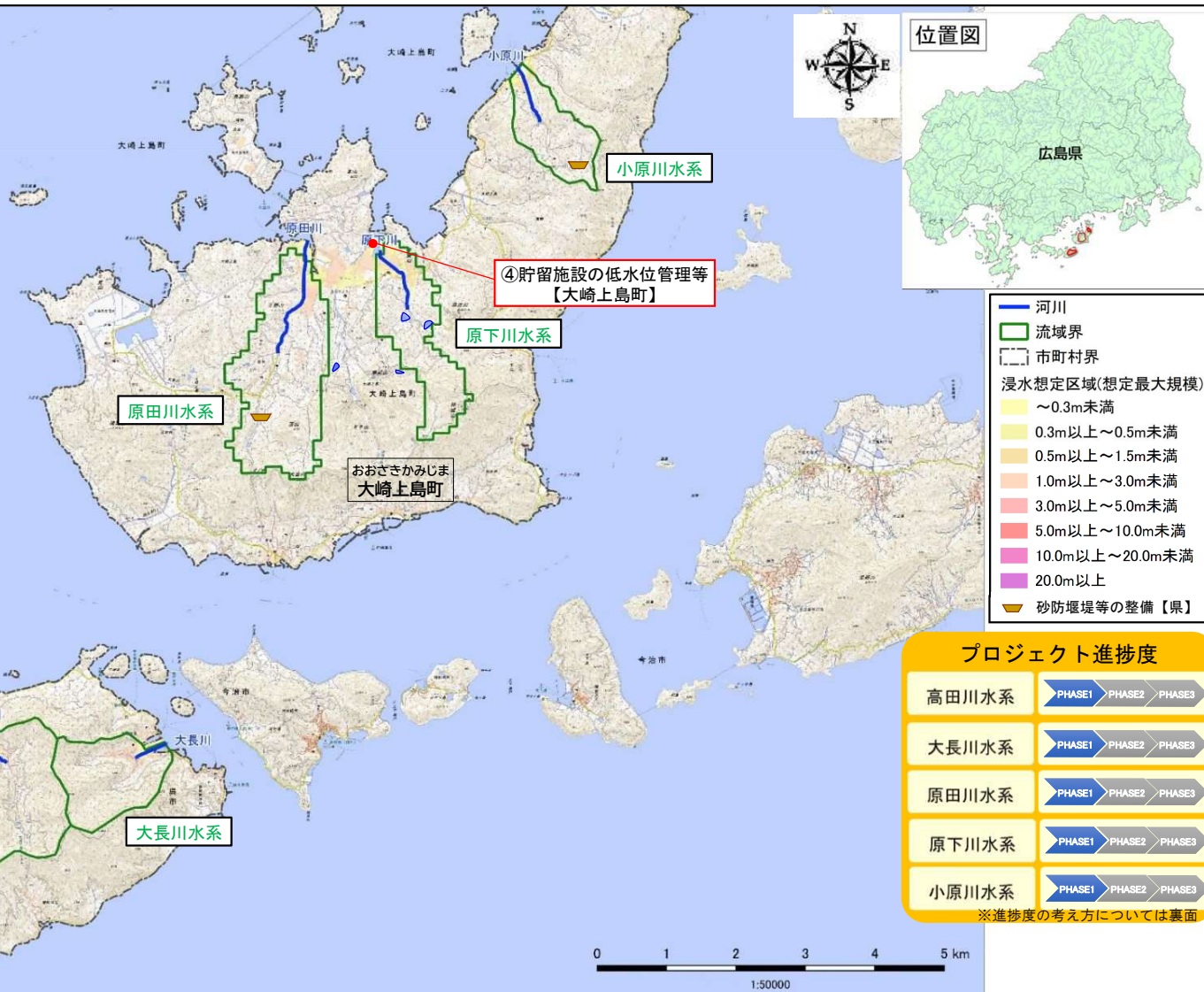
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、大崎上島町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・防災拠点の浸水対策【大崎上島町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、大崎上島町】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。 -24-

○ 高田川・大長川・原田川・原下川・小原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、大崎上島町	農地等の保全		
		大崎上島町	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、大崎上島町	関係機関との各種連携		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

沼田川水系・和久原川水系・西野川水系流域治水プロジェクト

二級水系
流域治水プロジェクト

令和5年度版

中央ブロック

【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

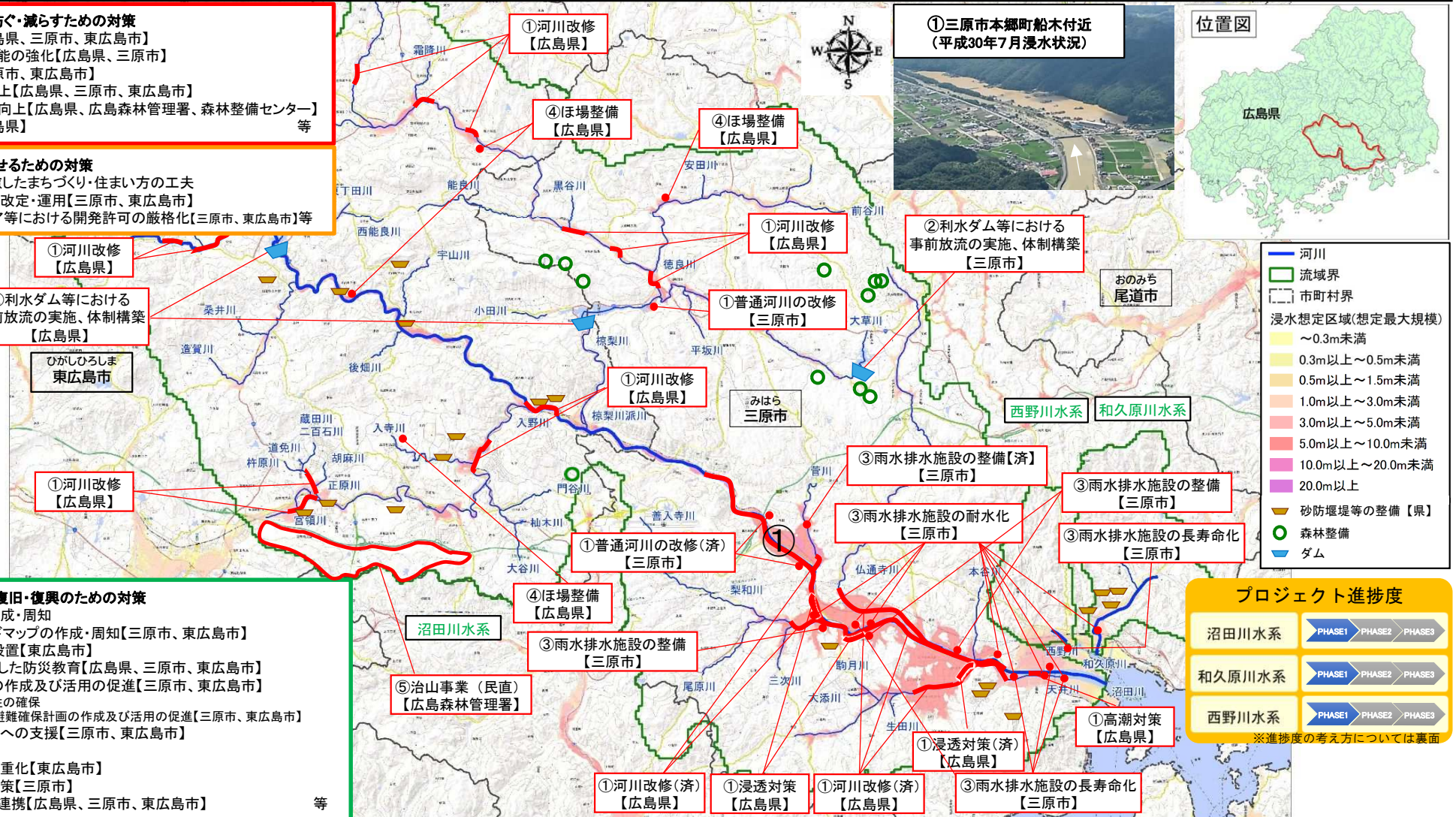
- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、東広島市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化【広島県、三原市】
- ③内水氾濫対策【三原市、東広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島県、三原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】等
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まいの工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【三原市、東広島市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【三原市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【三原市、東広島市】
 - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【三原市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【三原市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【三原市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化【東広島市】
 - ・防災拠点の浸水対策【三原市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 沼田川・和久原川・西野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(天井川、仏通寺川、菅川、梨和川)・堤防強化(済)、高潮対策(沼田川)	河川改修(杵原川、入野川、沼田川、棕梨川)・浸透対策(沼田川)	
		三原市、東広島市	準用河川・普通河川の改修、浚渫【三原市】	普通河川の改修、浚渫【東広島市】	
	②ダム洪水調節機能の強化	広島県、三原市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(三河ダム、棕梨ダム、福富ダム)		
	③内水氾濫対策	三原市、東広島市	雨水排水施設の整備、長寿命化、耐水化【三原市】	雨水排水施設の整備【東広島市】	
	④雨水貯留機能の向上	三原市、東広島市	農地等の保全		
		広島県	ほ場整備(安宿地区、戸野地区、深見地区)	ほ場整備(東高屋地区)	
	東広島市	貯留施設の低水位管理等			
⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	東広島市、三原市	防災指針策定【東広島市】	防災指針策定【三原市】	立地適正化計画の改定・運用
		三原市、東広島市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【東広島市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、東広島市	洪水・内水ハザードマップ作成【三原市】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、三原市、東広島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた、
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、熊野町】
- ②ダム洪水調節機能の強化【呉市】
- ③内水氾濫対策【呉市、熊野町】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【呉市、熊野町】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、熊野町】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、熊野町】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、熊野町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、熊野町】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・防災拠点の浸水対策【呉市、熊野町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、熊野町】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 二河川・堺川・大谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(二河川、大谷川) → 河川改修(二河川、堺川)		
		熊野町	普通河川の改修、浚渫		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(本庄ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	雨水排水施設の長寿命化(二河川水系、堺川水系)、整備・耐水化(大谷川水系)		
		呉市、熊野町	農業用水利施設の整備【呉市】 → 農業用水利施設の整備【熊野町】		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、熊野町	立地適正化計画の策定・運用【熊野町】 → 立地適正化計画の改定・運用		
		呉市	開発許可の厳格化済 → 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、熊野町、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、熊野町】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保		内水ハザードマップ作成【呉市】		
		呉市、熊野町	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
⑩防災体制の強化	広島県、呉市、熊野町	関係機関との各種連携			



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

木谷郷川水系・賀茂川水系・高野川水系・蛇道川水系・三津大川水系
流域治水プロジェクト【位置図】

令和5年度版

中央ブロック

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

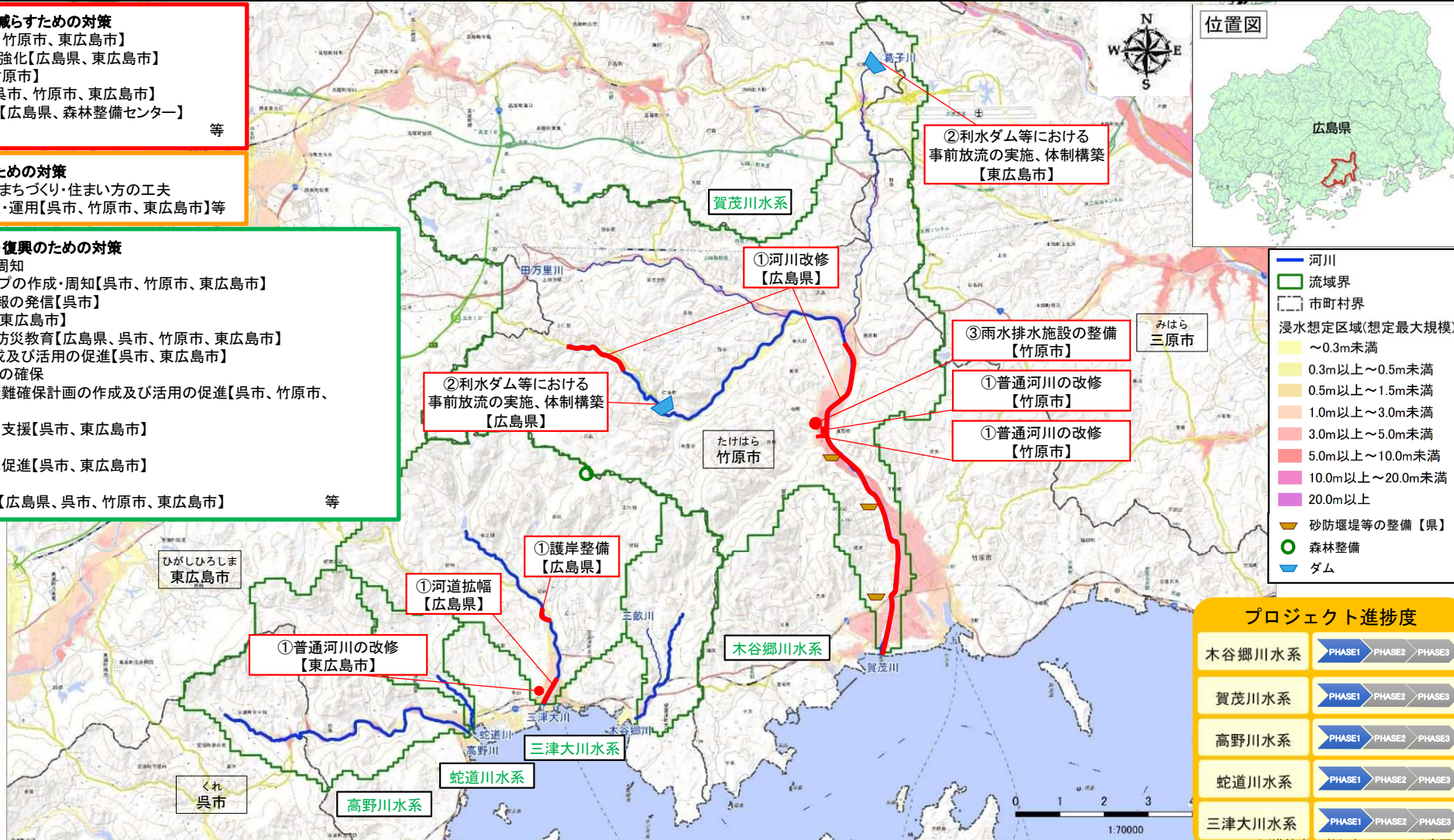
- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市、東広島市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【広島県、東広島市】
- ③内水氾濫対策【呉市、竹原市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、竹原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まいの工夫
・立地適正化計画の改定・運用【呉市、竹原市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、竹原市、東広島市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、竹原市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、竹原市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、東広島市】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、竹原市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 木谷郷川・賀茂川・高野川・蛇道川・三津大川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(賀茂川) 河道拡幅、護岸整備(三津大川)		
		竹原市、東広島市	普通河川の改修【竹原市(在屋川・山田川)】 普通河川の改修、浚渫【竹原市、東広島市】		
	②ダム等の事前放流等の体制構築、実施	広島県、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(千丈ヶ原ダム、仁賀ダム)		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備【竹原市(賀茂川水系)】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、竹原市、東広島市	雨水貯留施設の整備【竹原市】、貯留施設の低水位管理等【東広島市】、農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、竹原市、東広島市	防災指針策定		
			立地適正化計画の改定・運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、竹原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】		
			洪水・内水ハザードマップ作成		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、竹原市、東広島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
⑩防災体制の強化	広島県、呉市、竹原市、東広島市	関係機関との各種連携			



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

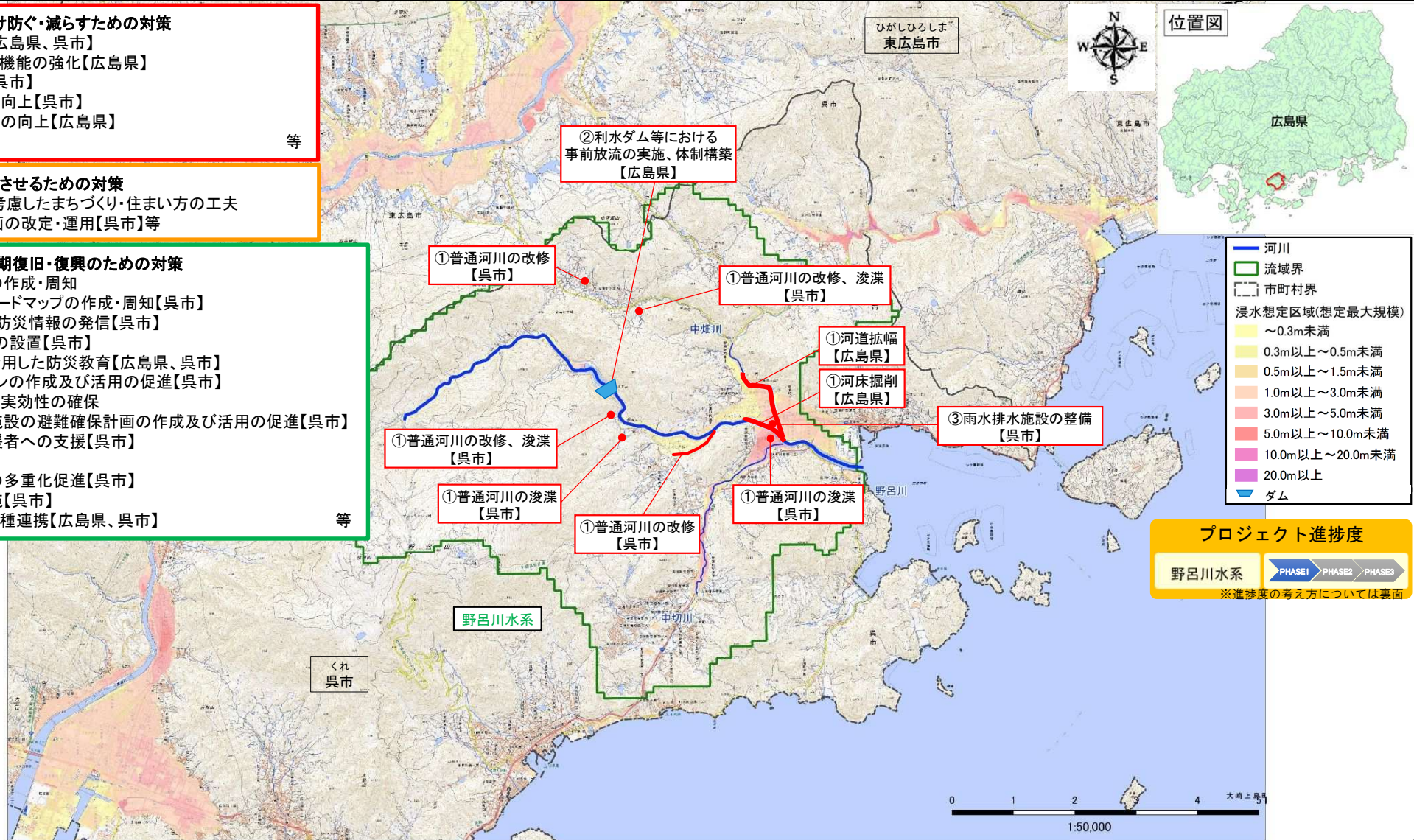
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市】
- ②ダムでの洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫・立地適正化計画の改定・運用【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

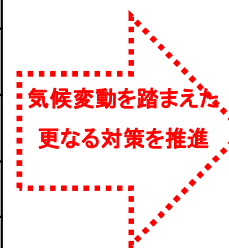
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 野呂川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】 更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河床掘削(野呂川)		河道拡幅(中畑川)
		呉市			普通河川の改修、浚渫
	②ダム洪水調節機能の強化	広島県	操作規則の変更済(野呂川ダム)	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(野呂川ダム)	
	③内水氾濫対策	呉市		雨水排水施設の整備、耐水化	
		呉市	農業用水利施設の整備		
④雨水貯留機能の向上	呉市			農地等の保全	
⑤山地の保水機能の向上	広島県			森林整備、治山事業	
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定		立地適正化計画の改定・運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	内水ハザードマップ作成		要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市			関係機関との各種連携



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
 ○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
 ○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
 ○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市】
- ⑥土砂流出対策

等

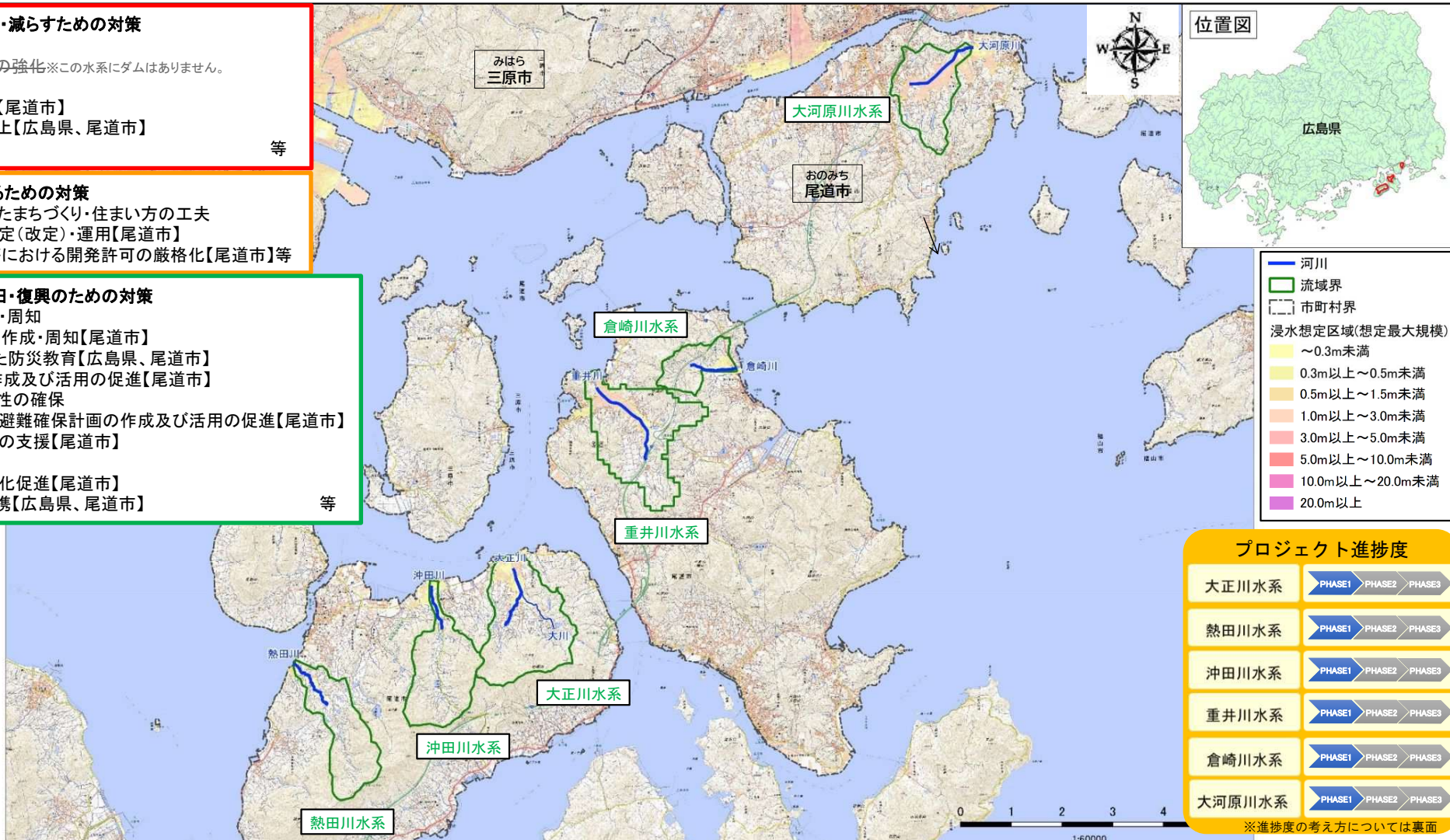
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【尾道市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市】
 - ・避難行動要支援者への支援【尾道市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○ 大正川・熱田川・沖田川・重井川・倉崎川・大河原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	④雨水貯留機能の向上	尾道市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、尾道市	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	尾道市	立地適正化計画の策定・運用		
		尾道市	立地適正化計画の改定・運用		
		尾道市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市、(広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、尾道市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、尾道市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【藤井川沿岸土地改良区】
- ③内水氾濫対策【尾道市】
- ④雨水貯留機能の向上【三原市、尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】

止水板設置補助金制度

自宅や店舗等へ止水板の設置をお考えの方へ

最大 **50** 万円の補助が受けられます！

止水板とは

玄関などの建物出入口や、車の出入路等に設置し、洪水や大雨による浸水を防ぐ効果があります。設置後は、大雨や洪水による浸水が軽減されます。大雨などにより道路等に浸水が確認された場合、建物内への水の浸入を防ぎ、人命の被害を軽減し、人命の取り分けが容易にできる効果があります。

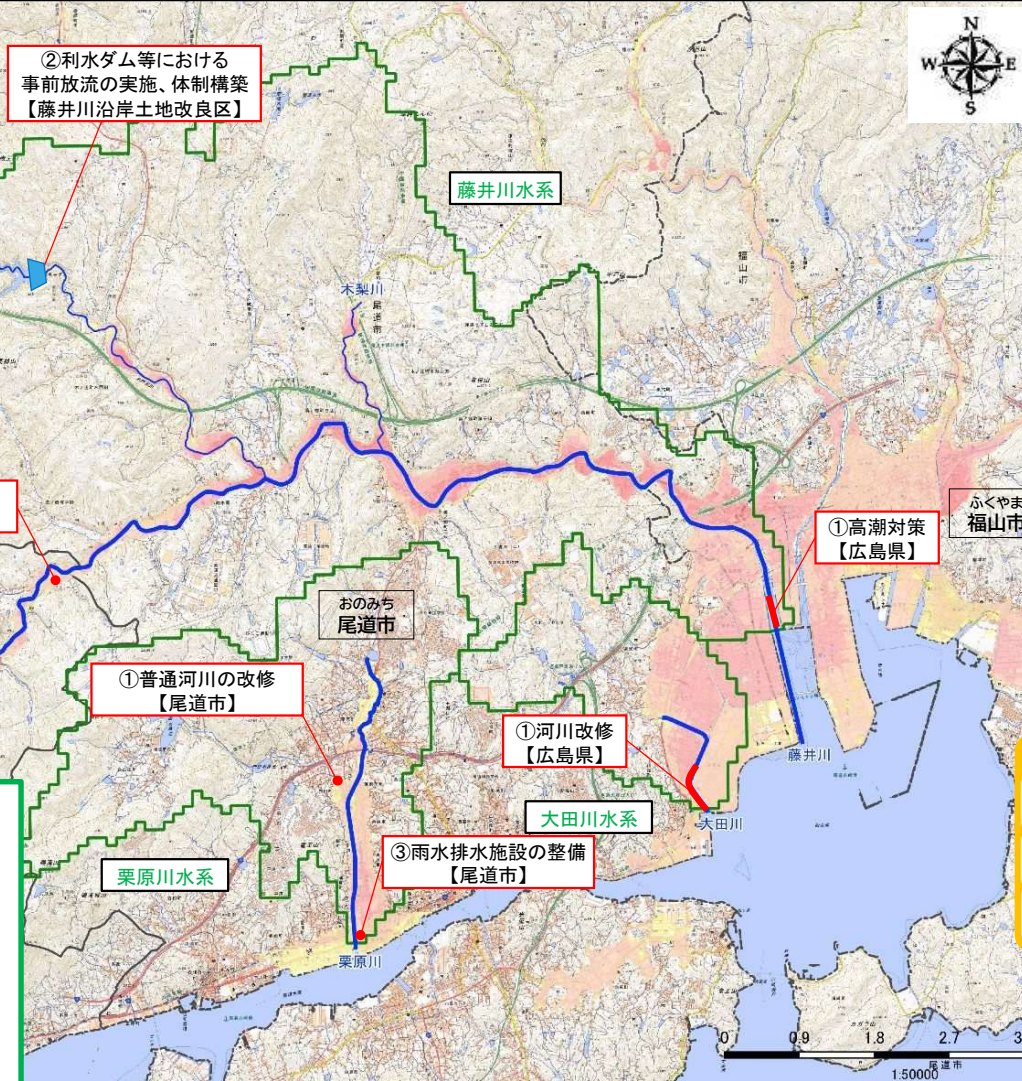
対象事業

- 止水板の購入
- 設置工事
- 止水板の購入
- 設置工事

【問合せ先】 尾道市上下水道供給管理課 社会サービス課
0752-6526 尾道市社会福祉課 福祉課 0752-6526
0752-6526 尾道市社会福祉課 福祉課 0752-6526

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【三原市、尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用促進【三原市、尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用促進【三原市、尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【三原市、尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、尾道市、福山市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

○ 藤井川・栗原川・大田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(大田川)・高潮対策(藤井川)		
		三原市、尾道市	普通河川の改修【三原市(藤井川水系)、尾道市(栗原川水系)】 普通河川の浚渫【三原市(藤井川水系)、尾道市(大田川水系)】		
	②ダム洪水調節機能の強化	藤井川沿岸土地改良区	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(竜泉寺ダム)		
	③内水氾濫対策	尾道市	雨水排水施設の整備(栗原川水系)		
	④雨水貯留機能の向上	三原市、尾道市	農地等の保全		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県、尾道市、森林整備センター	森林整備、治山事業		
		福山市、尾道市	立地適正化計画の策定・運用【福山市】	立地適正化計画の改定・運用【尾道市】	
		尾道市、福山市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市	開発許可の厳格化済	止水板の設置補助	
		三原市、尾道市、福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成【三原市、福山市】		
		三原市、尾道市、福山市	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】	内水ハザードマップ作成【福山市】	出前講座等にて周知
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、尾道市、福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、三原市、尾道市、福山市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

本郷川水系・羽原川水系・新川水系・山南川水系・才戸川水系

・本谷川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

令和5年度版

東ブロック

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、尾道市、福山市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市、福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策 等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市、福山市】



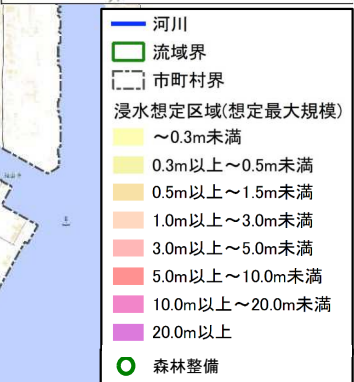
止水板設置補助金制度
自宅や店舗等に**止水板**の設置をお考えの方へ

50
最大50万円の補助が受けられます！

止水板とは
実際の建物の出入口や、車の出入り口等に設置することで、雨水の侵入を防ぎます。洪水発生時に、雨水が逆流し、建物内部の被害を防ぎます。人工で取り除く必要がないため、設置後も安心です。

対象事業
●設置工事
●撤去工事
●修繕工事
●取付け工事
●取外し工事
●取付け工事
●取外し工事

【問合せ先】 福山市上下水道経営管理課 お客さまサービス係
〒740-0292 福山市東区東町1-1-1 電話 0834-32-1111
受付時間 平日 9:00～17:00 (土日祝祭日を除く) 10月1日～12月31日(土曜日のみ) 受付時間延長中



プロジェクト進捗度

本郷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
羽原川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
新川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
山南川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
才戸川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
本谷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 本郷川・羽原川・新川・山南川・才戸川・本谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県、(福山市)	河川改修(羽原川)	河川改修(本郷川、新川【福山市の堰の改築含む】)		
		尾道市、福山市	普通河川の浚渫【福山市】	普通河川の改修【福山市・尾道市】		
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備、耐水化		雨水排水施設の長寿命化	
	④雨水貯留機能の向上	福山市	雨水貯留施設の整備			
		尾道市、福山市	農地等の保全			
⑤山地の保水機能の向上	福山市	農業用ため池の改良				
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市、尾道市	防災指針策定【福山市】	防災指針策定【尾道市】	森林整備、治山事業	
		福山市、尾道市	立地適正化計画の策定・運用【尾道市】	立地適正化計画の改定・運用		
		尾道市、福山市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市	止水板の設置補助			
		尾道市、福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成【福山市】	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市、福山市	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】	内水ハザードマップ作成【福山市】		
⑩防災体制の強化	尾道市、福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進				
		広島県、尾道市、福山市	関係機関との各種連携			



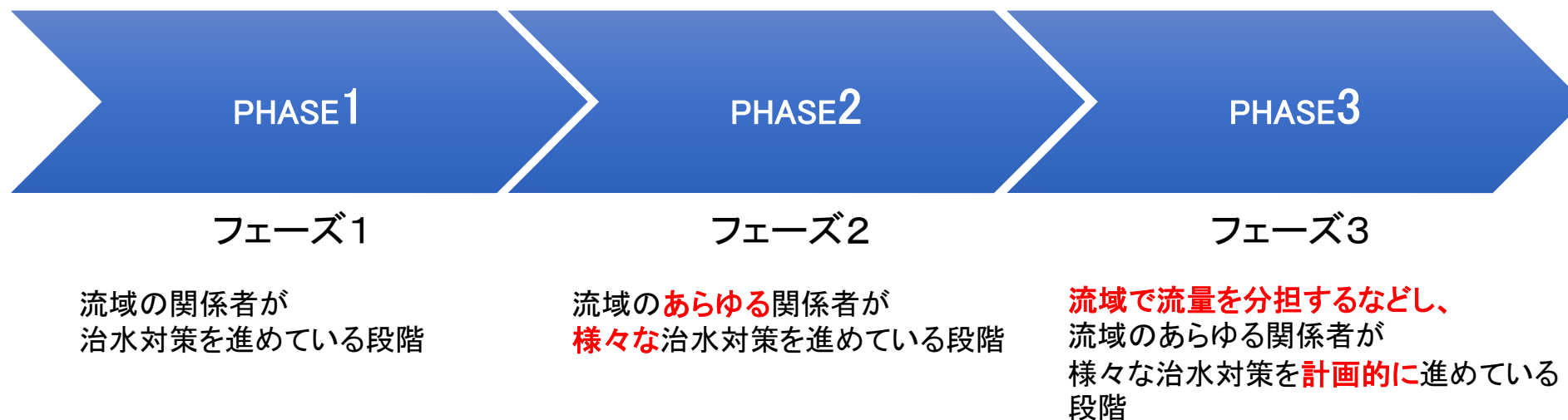
プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

流域治水プロジェクトの充実に向けて

- 流域治水の進捗度を、「現在どのような段階にあるのか」を以下のとおり示すこととする。
- 一部水系を除き、基本的にはフェーズ1の段階とし、今後、各主体の取組内容の見える化、国等による各分野における支援制度や全国プロジェクトにおける取組事例等の情報共有、水害リスク情報の充実(河川管理者)などを進めながら、流域治水協議会の実施において情報共有等を行い、新たな治水対策に取り組むための検討を進めるなどし、フェーズ2を目指していく。
- さらに、現況の水害リスクや近年発生した浸水被害状況などを踏まえ、必要に応じてフェーズ3を目指していく。



《R6.3末時点》

○フェーズ3：2水系(手城川水系、本川水系)

○フェーズ2：4水系(黒瀬川水系、堺川水系、本郷川水系、山南川水系)

○フェーズ1：41水系(上記以外の水系)

※評価を行うにあたっては、明確な評価基準はありません。
積極的に様々な主体が多様な取組を行っているか等を総合的に判断しています。

今後の予定

R3.1.26

第1回 流域治水協議会
(東・中央・西ブロック)

・協議会の設立

R3.3.22

第2回 流域治水協議会(東ブロック)

・手城川流域治水プロジェクト(案)審議

R3.3.30

手城川水系流域治水プロジェクト策定

R4.3.28

第3回 流域治水協議会(東ブロック)
第2回 流域治水協議会(中央・西ブロック)

・全ての二級水系の流域治水プロジェクト(案)審議

R4.3.30

全ての二級水系の流域治水プロジェクト策定

R5.3.6

1回目 流域治水幹事会(東・中央・西ブロック)

R5.3.14

2回目 流域治水幹事会(東・中央・西ブロック)

R5.3.23

第4回 流域治水協議会(東ブロック)
第3回 流域治水協議会(中央・西ブロック)

・更なる取組の充実に向けて審議

R5.11.27

広島県流域治水シンポジウムの開催

R6.1.5

二級水系の流域治水プロジェクトの更新依頼

R6.3.5

1回目 流域治水幹事会(東・中央・西ブロック)

R6.3.11

2回目 流域治水幹事会(東・中央・西ブロック)

R6.3.27

第5回 流域治水協議会(東ブロック)
第4回 流域治水協議会(中央・西ブロック)

・更なる取組の充実に向けて審議

R6.4以降

第6回 流域治水協議会(東ブロック)
第5回 流域治水協議会(中央・西ブロック)

・更なる取組の充実に向けて審議